

大会報告書

「青少年のための科学の祭典」・北茨城大会報告書

■ 主催 青少年のための科学の祭典2018・北茨城大会実行委員会
茨城県科学技術教育推進協議会
公益財団法人日本科学技術振興財団

■ 後援 文部科学省，茨城県教育委員会，茨城県教育研究会理科教育研究部，茨城県高等学校教育研究会理化部，茨城県高等学校教育研究会生物部，茨城県高等学校教育研究会地学部，茨城新聞社，北茨城市，北茨城市教育委員会，北茨城市商工会，全国科学館連携協議会，全国科学博物館協議会，NHK，日本物理教育学会，一般社団法人日本生物教育学会，日本地学教育学会，日本基礎化学教育学会，一般社団法人日本科学教育学会，一般社団法人日本理科教育学会，一般社団法人日本地質学会，一般社団法人日本生物物理学会，一般社団法人日本物理学会，公益社団法人応用物理学会，公益社団法人日本化学会，一般社団法人日本機械学会，公益社団法人日本アイソトープ協会，公益社団法人日本理科教育振興協会，一般財団法人日本私学教育研究所，公益社団法人日本植物学会，公益社団法人日本動物学会，公益社団法人日本天文学会，公益社団法人日本工学会，一般社団法人電気学会，日本エネルギー環境教育学会

■ 協賛 北茨城市内企業 他

■ 会場 北茨城市ふれあいセンター 住所 北茨城市磯原町本町2-5-15

■ 開催日時 平成30年11月18日（日）9：30～15：30 開催

■ 来場者数 2,200人

■ 出展数 25ブース出展

■ 出展タイトル一覧

- 1 アンモナイトやサンヨウチュウなどの化石のレプリカを作ろう！！
- 2 水の落ちないコップをつくろう
- 3 岩石薄片を作って見てみよう
- 4 ふしぎなコップモーターを作ろう
- 5 電気の性質を体験学習しよう
- 6 浄水の仕組みを楽しく学ぼう
- 7 「霞ヶ浦の水」の大切さ・COOL CHOICE について考える
- 8 発電してプラレールを動かしてみよう
- 9 海藻しおりを作ろう！
- 10 ミニ電気自動車を走らせよう！
- 11 太陽を見よう
- 12 分光器を作って光（スペクトル）を観察しよう
- 13 組み木パズルを作ろう・ペントミノで遊ぼう
- 14 電気と磁石のクイズ
- 15 みかんの皮で風船をわってみよう
- 16 カラフルキャンドルをつくろう

- 17 まつぼっくりのミニツリー
- 18 化石を発掘しよう
- 19 あれ？はずれない！どうして？！
- 20 世界に1つだけの宝石をつくろう！
- 21 見つけよう 幸せの星の砂！
- 22 虹のこまをつくろう
- 23 カラフル人工イクラをつくろう！
- 24 塩でスーパーボールを作ろう！！
- 25 エコタワシを作ろう

- 製作物
 - ・実験解説書：A4版 /表紙4色・中1色 /ページ数40ページ /
製作部数：500冊
 - ・チラシ：A4版 /表紙4色，裏1色 /製作部数：9,000枚
 - ・ポスター：A2版 表紙4色 製作部数：60枚

- 広報活動

チラシは，北茨城市内小中学校全児童生徒全員3,193名，高萩市内小中学校児童生徒全員1,984名，福島県いわき市南部地区小学校児童生徒2,522名，北茨城市内幼稚園児551名，高萩市内幼稚園児185名に，学校，幼稚園を通して配布した。

ポスターは，北茨城市内各学校・幼稚園，北茨城市公共機関等，高萩市内小中学校，いわき市南部地区小学校，協賛金協力者に依頼して貼付した。

- その他
 - ・ブースの2割強を市内小・中学校の先生方が担当している。
 - ・昨年度より来場者が増加し，2,200人の来場者があった。参加した子どもたちは，様々なブースで目を輝かせながら，生き生きと活動する姿が見られ，「科学の楽しさやすばらしさ」を体験することができた。また，来場者のアンケートには，「子供たちが実際に体験し，考えることが出来るため，とてもよい経験になると思います。毎年楽しみにしていますので，今後も継続して下さい」「また来年も参加したい」という感想がたくさん寄せられた。以上のようなことから，この大会の意義を改めて実感し，次代を担う子どもたちが科学への興味深さや感動を大いに味わうことのできる機会を続けていきたいと強く感じた。
 - ・隣の市である高萩市や福島県いわき市からも，幼稚園児から中学生まで，たくさんの来場者があり，好評であった。